

平成26年度決算に係る

定期監査調書

平成27年7月

農林水産部 栽培漁業センター

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	1 頁
4	職員の定員、現員調べ	1 頁
5	役付職員の調べ	2 頁
6	主な事業に関する調べ	3 頁
7	収入証紙取扱額調べ	7 頁
8	収入事務処理状況調べ	7 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	8 頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	8 頁
11	不納欠損額調べ	8 頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	9 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	12 頁
14	財産に関する調べ	12 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	17 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	22 頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	22 頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	23 頁
19	寄附物件の受納状況調べ	23 頁
20	備品の処分状況調べ	23 頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	23 頁
22	事業別予算執行状況調べ	24 頁
23	試験研究調査事業別実施状況調べ	25 頁
24	船舶運航調べ	29 頁
25	用船の状況調べ	30 頁
○	意見、要望等	23 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項  
該当なし

(2) 監査意見  
該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況  
該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課の主な所掌事務
栽培漁業センター	管理担当	人事管理、予算・決算事務
	養殖・漁場環境室	水産動植物の増殖、養殖及び漁場環境についての試験研究及び調査に関すること。 その他水産技術の普及指導並びに沿岸漁業及び内水面漁業の促進に関すること
	増殖推進室	〃
	試験船おしどり	〃

4 職員の定員、現員調べ

(平成27年4月1日現在)

種 別 区 分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当 該 年 度	27.4.1 現 在	当 該 年 度	27.4.1 現 在	当 該 年 度	27.4.1 現 在	当 該 年 度	27.4.1 現 在	
定 員	1	1	10	10	1	1	12	12	
現 員	( ) 1	( ) 1	( ) 10	( 1 ) 10	( ) 1	( ) 1	( ) 12	( 1 ) 12	
過不足△	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	1	1	11	11	2	2	14	14	

( ) は、育児休業、休職中の職員数。

## 5 役付職員の調べ

(平成27年7月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
所長	山田 英明	0	3	
管理担当課長補佐	田村 照幸	2	3	出納員
養殖・漁場環境室長	宮永 貴幸	0	3	
増殖推進室長	福井 利憲	0	3	勤務期間：5年3月

6 主な事業に関する調べ

事業名	概	要
<p>美保湾ヒラメ試験放流 サポート調査</p> <p>決算額 1,750千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 1,743千円 その他 7千円</p> <p>○将来ビジョン</p> <p>○政策項目</p>	<p><b>ア 目的及び事業の実施状況</b></p> <p>(ア) 目的 美保湾地域栽培漁業推進協議会が主体となり行うヒラメ放流に対して、技術的サポートと放流効果の検証を行う。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 ・ネオヘテロボツリウム症の蔓延により、H15年から事業放流を休止（放流サイズは3～8cm。ピーク時は100万尾以上を放流） ・H17、18年に美保湾で実施した稚魚調査から、美保湾が生育環境として良好なことが判明 ・そこで、H19年から大型種苗（10cm）の試験放流を美保湾で実施（6万尾/年） ・H22年は放流適地の検証のため標識放流を実施し、H23年は放流許容量の把握のため、集中放流を実施し、H24年度は前年との比較で分散した放流を実施し、H25年度は経費節減の検討のため、小型化して放流を実施した。 ・ヒラメは広域に回遊するため、H17年からH22年まで日本海中西部（石川県～山口県）で海域レベルでの放流効果の把握調査を実施した。</p> <p><b>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</b> ・これまで、県が主導し、共同でヒラメの試験放流を実施してきたが、H26年度から漁業者主体の放流事業への体制へ移行した。 ※ 美保湾周辺の鳥取県漁協境港支所、淀江支所、米子市漁協、JFしまね美保関支所、境港市、米子市、松江市、県が参画し美保湾地域栽培漁業推進協議会を組織。</p> <p><b>ウ 成果</b> ・H25年8月までにH20、H21年放流群の回収率は、それぞれ3.5%、3.6%だったが、H19、22、24年は、それぞれ16.1%、15.1%、17.5%（H26現在）と高い回収率であった。 ※これまでの平均回収率11.3%（参考：日本海側の平均的な回収率2-3%）。 H26年度は12年ぶりに美保湾地域栽培漁業推進協議会の事業として放流が実施された。</p> <p><b>エ 課題</b> ・高い回収状況であるが、ヒラメの魚価の低下により、費用対効果（放流経費に対する便益額）が1未満となっており、放流経費削減のため、放流サイズの小型化を検証して行く必要がある。 ・また、放流方法だけでなく資源管理と合わせた「もうかるヒラメ栽培漁業」について地元漁業者等と協議する必要がある。</p>	

事業名	概要
<p>キジハタ栽培漁業実用 化試験</p> <p>決算額 7,695千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 7,686千円 その他 9千円</p>	<p><b>ア 目的及び事業の実施状況</b></p> <p>(ア) 目的 平成20年から取り組んできた種苗生産技術や放流技術の基礎ができつつある中で、これまで開発してきた技術を実用的なものに改良し、栽培漁業を推進させる。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人工採卵試験 H24年度までの種苗生産では天然のキジハタから自然に産卵した卵を用いていたが、産卵が不調な年もあったため、人工的に産卵を促す試験を行った。</li> <li>・放流試験 放流経費削減のため引き続き小型種苗(6cm)を放流し、大型種苗(7cm)と生残において差がないことを放流後の潜水調査等で確認した。 流初期の食害軽減策として、「低密度・分散型放流」が有効であることが分かったので、本年度は酒津、赤碕に加え田後、網代、御来屋、淀江で約4万匹を放流した。</li> <li>・栽培漁業の推進 栽培漁業の推進を図るため、勉強会・放流実践等を通じて漁業者への放流手法の普及、資源管理の支援に努めた。 キジハタ栽培漁業の事業化に向けた漁協・漁業者との調整を図った。</li> </ul> <p><b>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・酒津、赤碕地区でモデル的に実施してきた「低密度・分散型放流」を全県的に拡大した。</li> </ul> <p><b>ウ 成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放流初期の食害魚であるカサゴや天然キジハタの胃から種苗は見られず「低密度・分散型放流」は他地区においも有効であることが分かった。</li> <li>・市場調査で、漁獲サイズの自主規制の取組みが徹底されていることを確認した。</li> </ul> <p><b>エ 課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに開発した種苗生産技術や放流技術を実用化するためには、種苗生産費の低減を図るとともに、平成23年度、24年度放流部(低密度分散放流)の分布状況の把握等による放流効果を確認し、回収率の向上を図る必要がある。</li> <li>・栽培漁業推進には漁業者への放流手法の普及や資源管理の支援も必要である。</li> </ul>

事業名	概要
<p>養殖事業展開可能性調査</p> <p>決算額 8,925千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 8,915千円 その他 10千円</p> <p>○将来ビジョン</p> <p>○政策項目</p>	<p><b>ア 目的及び事業の実施状況</b></p> <p>(ア) 目的 鳥取県で現在進めている陸上養殖について飼育方法を検討し、効率的で生産性のある養殖手法を確立する。平成24年度から「井戸海水を用いたマサバ陸上養殖を、加えて平成25年度からは「閉鎖循環水槽によるキジハタの陸上養殖」について飼育試験を行っている。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖用種苗の生産試験を実施した。(マサバ)</li> <li>・高密度養殖、生残率の向上など収益性の向上に繋がる項目について養殖試験を実施している。(マサバ)</li> <li>・養殖魚の脂肪含有量を測定した(マサバ)</li> <li>・海面養殖の可能性について共同研究を行った(マサバ)</li> <li>・閉鎖循環養殖システムを構築し、その管理方法を検討している。(キジハタ)</li> <li>・閉鎖循環養殖によるキジハタ養殖の飼育密度について検討を開始した。(キジハタ)</li> <li>・マーケティングに関する共同研究を実施中(キジハタ)</li> <li>・民間企業が新しく立ち上げた「ハイブリッド型循環養殖システム」の管理方法について、データを収集すると共に指導、助言を行っている。(キジハタ)</li> </ul> <p><b>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成長を促すため給餌手法を変更して生産を実施した。(マサバ)</li> <li>・採卵手法・種苗生産手法を変更した。(マサバ)</li> <li>・水質改善のため 飼育水の換水を実施した。(キジハタ)</li> </ul> <p><b>ウ 成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度より高い成長が見られた(マサバ)。</li> <li>・海面養殖における適正な収容時期について知見を得た(マサバ)。</li> <li>・閉鎖循環養殖のシステムを組み上げ、低水温期でもキジハタ養殖に適した水温(25℃)での飼育が可能となった(キジハタ)。</li> <li>・昨年度の種苗と比較して、高成長が得られた(キジハタ)。</li> </ul> <p><b>エ 課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖マサバ、キジハタの市場性の検討が必要。(マサバ、キジハタ)</li> <li>・採卵・種苗生産時期のコントロールの技術が必要。(マサバ)</li> <li>・硝化槽の蓄積への対応が必要。(キジハタ)</li> <li>・閉鎖循環養殖での飼育密度と成長の把握が必要。(キジハタ)</li> <li>・養殖に係る飼育コストの試算が必要。(マサバ・キジハタ)</li> </ul>

事業名	概	要
湖山池漁場環境回復試験  決算額  12,548千円  (財原内訳) 一般財源 12,536千円  その他 12千円	<b>ア 目的及び事業の実施状況</b> <b>(ア) 目的</b> 「湖山池将来ビジョン」に基づく湖山川水門開放が、魚介類へ与える影響および水質の変化を把握するとともに、重要魚種の資源状況把握及び水産振興策としてのシジミ増産策を検討する。また、漁場景観の改善と造成を目的とした、安価な手法による覆砂の効果を検証する。  <b>(イ) 事業の実施状況</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・湖内・湖山川の魚介類の生息状況を把握した。</li> <li>・湖内の漁場景観を把握した。</li> <li>・ヤマトシジミの増産策を検討した。</li> <li>・安価な手法による覆砂を実施し効果を把握した。</li> <li>・産卵床設置などによるコイ・フナの増産対策を実施した。</li> </ul> <b>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤマトシジミ漁ができるまで資源を増やす方法を検討した。</li> </ul> <b>ウ 成果</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水門開放後、魚介類の種類数は海産種が増加し淡水産種が減少した。</li> <li>・ヤマトシジミが順調に成育しH26年6月からシジミ漁の試験操業が開始された。</li> <li>・H25、H26年に覆砂した3箇所とも覆砂効果が持続している。</li> <li>・コイ・フナ的大量斃死は発生しなかった。</li> </ul> <b>エ 課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤマトシジミ漁が安定して行える漁獲量などを試算する必要がある。</li> <li>・安価な覆砂の効果が何時まで続くか把握する必要がある。</li> </ul>	

7 収入証紙取扱額調べ

(平成27年5月31日現在)

目	収入科目		件数	単価 (円)	証紙はりつけ額 (円)	備考
	節	目				
農林水産業手数料	水産業手数料	栽培漁業センター	1	13,700	13,700	コイヘルペスウイルス病検査
		手数料	1	20,300	20,300	コイ春ウイルス血症検査(ウイルス分離検査)
			2	420	840	上記証明書
			1	15,700	15,700	ヒラメクドアセンテンプンタータ検査
			1	420	420	上記証明書
		計(節)	6		50,960	
	目計		6		50,960	
	合計		6		50,960	

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金  
該当なし

(2) 使用料

(平成27年5月31日現在)  
(単位：円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	目							
行政財産使用料	行政財産使用料	駐車場使用料	25	389,000	389,000	0	0	鳥取県公有財産事務取扱規則	
		冷房使用料	1	16,922	16,922	0	0		
		計(節)	26	405,922	405,922	0	0		
	目計	26	405,922	405,922	0	0			
	合計	26	405,922	405,922	0	0			

(3) 手数料  
該当なし

(4) 財産収入

(平成27年5月31日現在)  
(単位：円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
	節	細節							
漁獲物売払収入			9	141,509	141,509	0	0	農林水産関係教育試験研究機関等における生産品事務取扱要領	
		計(節)	9	141,509	141,509	0	0		
	目計		9	141,509	141,509	0	0		
	合計		9	141,509	141,509	0	0		

(5) 諸収入

(平成27年5月31日現在)  
(単位：円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
	節	細節							
雑収入			1	28,440	28,440	0	0		
		軽自動車使用料							
		雇用保険料本人負担分	1	105,217	105,217	0	0		
	目計		2	133,657	133,657	0	0		
	合計		2	133,657	133,657	0	0		

(6) 現金の取扱状況

該当なし

9 収入未済額調べ

該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ

該当なし

11 不納欠損額調べ

該当なし

1 2 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(平成27年5月31日現在)  
(単位：円)

予算科目 (目)	予算額令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令名等 (規約、要領等を含む)	備考
栽培漁業センター費	45,000					40,000		
目計						40,000		
合計						40,000		

(2) 補助金  
該当なし

(3) 交付金  
該当なし

## (4)委託料

(平成27年5月31日)(単位:円)

予算科目 (目)	国補単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約期間			支区分	支出 年月日	金額	
栽培漁業センター費	単県	目書プランクトン同定業務委託	㈱東京久栄広島営業所	( )	(26.4.10) 307,929	26.4.10 ~ 26.8.31	26.8.19	精算	27.9.4	307,929		
					( )							
栽培漁業センター費	単県	試験放流用キジハタ種苗生産委託	(公財)鳥取県栽培漁業協会	( )	(26.4.1) 4,054,000	26.4.1 ~ 27.3.31	27.3.31	概算	26.6.5 他	4,054,000		
					( )							
栽培漁業センター費	単県	アユカケ種苗生産業務委託	(公財)鳥取県栽培漁業協会	( )	(26.4.1) 429,000	26.4.1 ~ 27.3.31	27.3.31	概算	26.5.8 他	429,000		
					( )							
栽培漁業センター費	単県	栽培漁業センター施設維持管理業務	(公財)鳥取県栽培漁業協会	( )	(26.4.1) 6,255,000	26.4.1 ~ 27.3.31	27.3.31	概算	26.5.8 他	6,255,000	戻入	
					( )							
栽培漁業センター費	単県	栽培技術普及指導業務委託	(公財)鳥取県栽培漁業協会	( )	(26.4.1) 540,000	26.4.1 ~ 27.3.31	27.3.31	概算	26.5.8 他	540,000	戻入	
					( )							
栽培漁業センター費	単県	海水導水管(Φ500mm)破損調査委託	(株)東京久栄広島営業所	( )	(26.6.12) 2,484,000	26.6.12 ~ 26.7.31	26.7.31	精算	26.8.11	2,484,000		
					( )							
栽培漁業センター費	単県	総排水口堆積物撤去業務委託費	㈲谷本建設	( )	(26.6.23) 421,200	26.6.23 ~ 26.7.14	26.7.14	精算	26.8.11	421,200		
					( )							
栽培漁業センター費	単県	産業廃棄物(試薬等)処理委託	三光(株)他	( )	(26.9.16) 438,156	26.9.16 ~ 27.1.31	26.10.15	精算	26.11.5	438,156		
					( )							
栽培漁業センター費	単県	ろ過機電動弁整備点検業務委託	(株)オグラ	( )	(26.10.30) 6,912,000	26.10.30 ~ 27.1.30	27.1.30	精算	27.2.10	6,912,000		
					( )							
栽培漁業センター費	単県	海水導水管(Φ500mm)修繕工事節制業務委託	(株)東京久栄	( )	(26.11.4) 4104,000	26.11.4 ~ 27.1.31	27.1.30	精算	27.2.10	4,104,000		
					( )							

予算科目 (目)	国補単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約期間			支出区分	支出 年月日	金額	
栽培漁業センター費	単県	第2沈砂槽清掃委託	南谷本建設		(契約年月日) 契約額	契約期間	27.3.13	精算	27.3.25	324,000		
栽培漁業センター費	単県	マサハ種苗生産試験 業務委託	(公財)鳥取県栽培 漁業協会	324,000	(27.2.6) 324,000	27.2.6 ~ 27.3.20	27.3.13	精算	27.3.13			
栽培漁業センター費	単県	マサハ種苗生産試験 業務委託	(公財)鳥取県栽培 漁業協会	3,100,000	(26.4.1) 3,100,000	26.4.1 ~ 27.3.31	27.3.31	概算	26.5.8 他	3,100,000		
栽培漁業センター費	単県	ギジハタ養殖用種苗生 産業務委託	(公財)鳥取県栽培 漁業協会	257,000	(26.4.21) 257,000	26.4.21 ~ 27.3.31	27.3.31	概算	26.7.10	257,000		
栽培漁業センター費	単県	マサハ粗脂肪測定業 務委託	(公財)鳥取県栽培 漁業協会	544,320	(27.1.8) 427,680	27.1.8 ~ 27.3.20	27.3.9	精算	27.3.26	427,680		
栽培漁業センター費	単県	湖山池漁場環境回復 試験に係る魚類採捕等 業務委託	湖山池漁業協同組 合	2,430,000	(26.4.1) 2,430,000	26.4.1 ~ 27.3.31	27.3.27	精算	27.4.28	2,163,240		
栽培漁業センター費	単県	湖山池漁場環境回復 試験に係るシジミ増殖 維持管理業務委託	湖山池漁業協同組 合	540,000	(26.4.1) 540,000	26.4.1 ~ 27.3.31	27.3.27	精算	27.4.28	540,000		
栽培漁業センター費	単県	共同研究契約	国立大学法人鳥取 大学	3,860,000	(26.6.23) 3,860,000	26.6.23 ~ 27.3.31	27.3.31	概算	26.7.18	3,860,000		
栽培漁業センター費	単県	養殖普及指導業務の 委託	(公財)鳥取県栽培 漁業協会	2,501,000	(26.4.1) 2,501,000	26.4.1 ~ 27.3.31	27.3.31	概算	26.5.8 他	2,501,000		
予定価格が20万円 未満のもの					( )		27.4.23		27.5.15	-1,881,305	戻入	
目計										38,018,135		
合計										38,018,135		

13 工事請負費調べ

該当無し

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

(平成27年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考	
			面積(m <sup>2</sup> )	価格(円)	増減別	異動日	面積(m <sup>2</sup> )	価格(円)	増減理由	登記年月日	面積(m <sup>2</sup> )	価格(円)		
行政財産	栽培漁業センター	湯梨浜町石脇1166	25,445.07	42,461,795	増加							25,445.07	42,461,795	
計			25,445.07	42,461,795								25,445.07	42,461,795	
普通財産	(該当なし)		0	0	増加							0	0	
計														
合計			25,445.07	42,461,795								25,445.07	42,461,795	

イ 建物

(平成27年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積(m <sup>2</sup> )	価格(円)	増減別	異動日	面積(m <sup>2</sup> )	価格(円)	増減理由	登記年月日	面積(m <sup>2</sup> )	価格(円)	
行政財産	プレハブ倉庫	湯梨浜町石脇 1166	30.69	2,992,500	増加						30.69	2,992,500	
	ワムシ飼育培養棟		417.60	28,580,819	増加						417.60	28,580,819	
	アワビ棟		2,110.17	170,473,709	増加						2,110.17	170,473,709	
	管理棟		691.92	76,063,378	増加						691.92	76,063,378	
	津波対策避難階段		12.74	8,157,000	増加						12.74	8,157,000	
	機械棟		386.70	39,796,653	増加						386.70	39,796,653	
	車庫		25.00	1,623,511	増加						25.00	1,623,511	
	ポンプ庫		8.75	831,957	増加						8.75	831,957	
	ヒラメ棟		1,382.87	134,170,880	増加						1,382.87	134,170,880	
	クルマエビ飼育棟		360.40	24,779,724	増加						360.40	24,779,724	
	アワビ棟調音施設		7.93	747,295	増加						7.93	747,295	
	濾過機		97.90	7,925,584	増加						97.90	7,925,584	

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考	
			面積(m <sup>2</sup> )	価格(円)	増減別	異動日	面積(m <sup>2</sup> )	価格(円)	増減理由	登記年月日	面積(m <sup>2</sup> )	価格(円)		
行政財産	養殖技術指導研修施設	湯梨浜町石脇1166	135.00	17,033,390	増加						135.00	17,033,390		
					減少									
	漁具倉庫		99.89	7,577,099	増加							99.89	7,577,099	
					減少									
	サザエ棟		695.50	178,346,560	増加							695.50	178,346,560	
					減少									
	試料前処理室		30.00	4,223,000	増加							30.00	4,223,000	
					減少									
	沈砂棟		18.56		増加							18.56		
					減少									
	ポンプ室		28.59	35,515,430	増加							28.59	35,515,430	
					減少									
水管更正ピット	7.76		増加							7.76				
			減少											
井戸海水ポンプ室1	7.78		増加							7.78				
			減少											
井戸海水ポンプ室2	7.78	15,400,785	増加							7.78	15,400,785			
			減少											
井戸海水ポンプ室3	7.78		増加							7.78				
			減少											
井戸海水ポンプ室	11.65	47,416,950	増加							11.65	47,416,950			
			減少											

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況							本年度末		備考
			面積(m <sup>2</sup> )	価格(円)	増減別	異動日	面積(m <sup>2</sup> )	価格(円)	増減理由	登記年月日	面積(m <sup>2</sup> )	価格(円)		
													増加	
行政財産	ヒラメ、クルマエビ加温施設機械棟	湯梨浜町石脇1166	125.00	22,557,000	増加							125.00	22,557,000	
			91.00	20,171,550	減少								91.00	20,171,550
行政財産	防疫検査施設		49.28	28,866,100	増加							49.28	28,866,100	
			6,848.24	873,250,874	減少								6,848.24	873,250,874
計														
普通財産	(該当なし)				増加									
計			0	0	減少							0	0	
合計			6,848.24	873,250,874				0.00				6,848.24	873,250,874	

ウ 山林  
該当なし

エ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機）  
該当なし

オ 物権  
該当なし

カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）  
該当なし

キ 有価証券  
該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成27年5月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び郵便はがき	円 11,940	円 31,240	円 12,962	円 30,218	
合 計	11,940	31,240	12,962	30,218	

イ タクシーチケットの受払状況  
該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地  
該当無し

イ 建物

(平成27年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料円		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏	所名	
行政財産	種苗生産業務	湯梨浜町石脇1167	5,739.42 m <sup>2</sup>	H24.4.1	H6.4.1	H24.4.1 ～ H27.3.31		無償	湯梨浜町石脇1166		
			2,923.22 m <sup>2</sup>	"	"	"		無償	(公財)鳥取県栽培漁業協会		工作物
計											
普通財産	(該当無し)										
計											
合計											

※工作物(2,923.22m<sup>2</sup>)は建物(5,793.42m<sup>2</sup>)に含まれる面積である。

## (2) 物 品

(平成27年3月31日現在)

品 名	数 量	規 格・銘 柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先		使用場所	貸付目的	備 考
				単 価	本年度の 貸付料	住 氏 名	所 名			
レイシーメタルハライド ランプ	2	LCU-150	H24.4.1 ~H27.3.31	月額・年額	免除	東伯郡湯梨浜町石脇1166 公益財団法人鳥取県栽培漁業協会	栽培漁業センター	種苗生産業務		
ユニット実験台	1	三英DW式	"	月額・年額	"	"	"	"		
ドラフトチャンバー	1	三英PW式	"	月額・年額	"	"	"	"		
壁側実験台	6	三英DW式	"	月額・年額	"	"	"	"		
ユニット流し台	10	三英DW式	"	月額・年額	"	"	"	"		
電気泳動装置	1	サブマリノ型	"	月額・年額	"	"	"	"		
電気泳動装置	1	AE8750型	"	月額・年額	"	"	"	"		
振とう器	1	アト-AE3605型	"	月額・年額	"	"	"	"		
電気泳動装置	1	AE-6133	"	月額・年額	"	"	"	"		
中央実験台	4	三英DW式	"	月額・年額	"	"	"	"		
作業台	1	三英DW式	"	月額・年額	"	"	"	"		

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先		使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料	住氏名	住所名			
システム実体顕微鏡	1	ニコンSMZ-10A-6	H24.4.1 ~H27.3.31	月額・年額	免除	東伯郡湯梨浜町石脇1166 公益財団法人鳥取県栽培漁業協会		栽培漁業センター	種苗生産業務	
システム顕微鏡	1	オリンパスBX50-34-VPT-1PM2 0-3P	"	月額・年額	"	"	"	"	"	
FRP水槽	1	KF800S	"	月額・年額	"	"	"	"	"	
アルミテアふ化槽	2	FRP500	"	月額・年額	"	"	"	"	"	
FRP水槽	2	KF-1500S	"	月額・年額	"	"	"	"	"	
波板洗浄機	1	クボタ工業NK-50 OS型	"	月額・年額	"	"	"	"	"	
自動波板洗浄機	1	クボタ工業NK-50 O型	"	月額・年額	"	"	"	"	"	
遠心分離器	1	日立工機05P-21P	"	月額・年額	"	"	"	"	"	
冷却遠心機	1	日立工機CF15R	"	月額・年額	"	"	"	"	"	
PCRサーマルサイク ラー	1	宝酒造TP3000	"	月額・年額	"	"	"	"	"	
高圧蒸気滅菌器	1	オートクレーブMLS -3020	"	月額・年額	"	"	"	"	"	
高温恒温器	1	MOV-112P	"	月額・年額	"	"	"	"	"	

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先		使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料	住氏	所名			
恒温水槽	1	BF-500	H24.4.1 ~H27.3.31	月額・年額	免除	東伯郡湯梨浜町石脇1166 公益財団法人鳥取県栽培漁業協会	栽培漁業センター	種苗生産業務		
蛍光顕微鏡	1	NikonE600B	"	月額・年額	"	"	"	"		
DNA検出・撮影装置	1	AE-6915型	"	月額・年額	"	"	"	"		
フィッシュポンプ	1	ピンピンZ-65L	"	月額・年額	"	"	"	"		
測定台	2	三英DW式	"	月額・年額	"	"	"	"		
冷却遠心機	1	久保田MODEL 1920	"	月額・年額	"	"	"	"		
分光光度計	1	アマシヤムファアルマシ アバイオテク	"	月額・年額	"	"	"	"		
ELISA機器	1	5501575	"	月額・年額	"	"	"	"		
分注器	1	0.5~10μl 他	"	月額・年額	"	"	"	"		
アスピレーター	1	WJ-15	"	月額・年額	"	"	"	"		
クリーンベンチ	1	PAU-1300AG	"	月額・年額	"	"	"	"		

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先		使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料	住氏名	所名			
和船	1	SW-24BF	H24.4.1 ~H27.3.31	月額・年額	免除	東伯郡湯梨浜町石脇1166 公益財団法人鳥取県栽培漁業協会	栽培漁業センター	種苗生産業務		
船外機	1	29.9KWスズキ製	"	月額・年額	"	"	"	"		
軽トラック	1	スバル 鳥取480 え6566	"	月額・年額	"	"	"	"		
軽キャブバン	1	日産 鳥取480 か6710	"	月額・年額	"	"	"	"		
軽キャブバン	1	日産 鳥取480 か6845	"	月額・年額	"	"	"	"		
フォークリフト	1	TCM FHGE15T4	"	月額・年額	"	"	"	"		
チヨツパー	1	エムラES-2フード スライサー	"	月額・年額	"	"	"	"		
スライスカッター	1	KTD-3型	"	月額・年額	"	"	"	"		
空気脱水殺菌装置	1	サニトロンSS-10G	"	月額・年額	"	"	"	"		
合計	64									

16 借受不動産明細調べ

該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況

(1) 職員住宅

該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 ㎡	貸付(使用)料(月額) 円
行政財産	東伯郡湯梨浜町石脇1166	12.5	1,000
普通財産	(該当無し)		

イ 異動状況

(行政・普通財産)

月別	前月末 人	当月減		当月増		当月末		調定額 円	収入済額 円	収入未済額 円
		人	うち減免 人	人	うち減免 人	人	うち減免 人			
4月	32	4		3		31		31,000	31,000	0
5月	31			1		32		32,000	32,000	0
6月	32					32		32,000	32,000	0
7月	32					32		32,000	32,000	0
8月	32	1		1		32		32,000	32,000	0
9月	32	1				31		31,000	31,000	0
10月	32			1		32		32,000	32,000	0
11月	32	1		1		32		32,000	32,000	0
12月	32			1		33		33,000	33,000	0
1月	33					33		33,000	33,000	0
2月	33			1		34		34,000	34,000	0
3月	34			1		35		35,000	35,000	0
合計	387	7	0	10	0	389		389,000	389,000	0

18 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ

(平成27年3月31日現在)

車種	年式	登録番号	取得年月日	総走行 キロ数 km	本年度		備考
					車検年月日	修理費等 円	
軽四輪貨物自動車	22	鳥取480え65-66	H22.2.3	43,660	該当なし		
軽四輪貨物自動車	23	鳥取48か65-67	H23.8.1	60,414	該当なし	4,212	
軽四輪貨物自動車	23	鳥取48か68-45	H23.8.10	63,864	該当なし	39,334	
合計		3台				43,546	

19 寄付物件の受納状況調べ

該当なし

20 備品の処分状況調べ

(平成27年3月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	数量	取得 年月日	耐用 年数 年	取得 価格 円	不用決定 年月 日	不用とする 理由	処分				備考
							売却 理由	売却 方法 理由	処分 年月日	売却額 ・処分 費用 円	
ガラス標本ビン Φ240mm ×600	3	S56.3.31	5	192,000	H26.7.29	老朽化、 今後使用 不能	売却	売却 不能	H26.7.29	133,708	処分費 は、産廃 一括処 分費用
カラーレーザ ープリンター	1	H22.6.23	5	48,216	H26.8.26	故障・修 理不能	売却	売却 不能	H26.8.27	0	
合計	4			240,216						133,708	

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷

(平成27年3月31日現在)

現金、有価証券 又は物品名	数量	金額	出納員又は 使用者職名	亡失、損傷 年月日、時	同左場所	同左概要	報告 年月日	会計局の 審査結果
公用車 (鳥取480 68-45)	1	40,000円	室長 福井利憲	H26.9.19	鳥取市湖 山町南一 丁目の公 園内	バックの移動の際、バンパ ーをベンチに接触し損傷	H26.9.19	賠償無し
合計		0						

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった 物品	現物が確認できなかった物品名	個 数
27年3月16日 ～ 27年3月23日	・ 有	○ 無	

○意見、要望等

特に無し

18-2 船舶（公有財産の船舶を含む。）の管理状況

（平成27年3月31日現在）

船名	トン数	取得年月日	稼働日数 日	燃料		修繕費等 円	左の主な内容 円	定係港又は船籍港	占用料 円
				消費量 ℓ	金額 円				
おしどり	6.1	H22.9.1	62	6,100				泊漁港	免除
石脇丸	0.9	H25.11.29	84	200				泊漁港	免除
計	7.0		146	6,300					

（注）「18 自動車（二輪を除く）の管理状況」の注書きの例による。

2.2 事業別予算執行状況調べ

（平成27年3月31日現在）

目名	栽培漁業センター費	
事業名		事業の概要（目的、実績等）
美保湾ヒラメ試験放流サポート事業		23 試験研究調査事業別実施状況調べに記載
即戦力！高級魚の資源実態把握調査		23 試験研究調査事業別実施状況調べに記載
沿岸漁業重要資源調査		23 試験研究調査事業別実施状況調べに記載
資源回復技術開発試験		23 試験研究調査事業別実施状況調べに記載
豊かで安心な魚を育む漁場環境監視事業		23 試験研究調査事業別実施状況調べに記載
キジハタ栽培漁業実用化試験		23 試験研究調査事業別実施状況調べに記載
アユカケ養殖普及指導事業		23 試験研究調査事業別実施状況調べに記載
漁場対策事業		23 試験研究調査事業別実施状況調べに記載
内水面資源生態調査		23 試験研究調査事業別実施状況調べに記載
豊かな海づくり事業（未利用海藻ほりおこし調査）		23 試験研究調査事業別実施状況調べに記載
養殖事業展開可能性調査		23 試験研究調査事業別実施状況調べに記載
活イカブランド出荷システム実証試験		23 試験研究調査事業別実施状況調べに記載
東郷池ヤマトシジミ資源回復試験		23 試験研究調査事業別実施状況調べに記載

23 試験研究調査事業別実施状況調べ

(平成27年5月31日現在)

事業名	実施計画 期間 (予算額) 支出済額	担当室	試験研究 調査の目的	試験研究調査の 成果・課題
美保湾ヒラメ試験放流サポート調査	26年度 ～27年度 円 (2,190,000) 1,750,123	増殖推進室	「6 主な事業に関する調べ」に記載	(成果) 「6 主な事業に関する調べ」に記載
				(課題) 「6 主な事業に関する調べ」に記載
即戦力！高級魚の資源実態把握調査	24年度 ～26年度 円 (3,352,000) 2,780,026	増殖推進室	(調査対象) トラフグ(県東中部海域)、アマダイ(県中西部海域)、インダイ(県西部海域) (目的) (単) これまで漁獲対象としていなかった収益性の高い高級魚の漁場、資源状況等の把握を行うことで、即効性のある沿岸漁業振興を行う。	(成果) トラフグ・マフグについては、漁法導入試験操業の結果、赤碕、浜村、賀露で漁業者が操業を開始するなどの成果が得られた。 (課題) アマダイ、インダイ等の高級魚が存在すると考えられるが、収益性の取れない結果となった。
			(調査対象) ヒラメ、ナガレメイタカレイ、マダイ、サワラ、ソデイカ、サザエ等 (目的) (単) 沿岸漁業の重要対象種の資源動向と漁獲実態に関する調査を行い、漁業者へ資源管理方策の提言や高効率な漁業経営を促進するための情報発信を行う。	(成果) データ蓄積しており、稚魚の発生動向等から来漁期の漁獲予測が可能であり、漁業者が一番関心のある情報を提供している。 (課題) サザエ、アワビが漁獲量減少傾向にあり、原因究明が必要である。 漁獲の多いマアジについて沿岸域での調査がされておらず、漁獲動向を把握する必要がある。
沿岸漁業重要資源開発試験	13年度 ～ 円 (10,077,000) 9,510,378	増殖推進室	(調査対象) ヒラメ、ナガレメイタカレイ、マダイ、サワラ、ソデイカ、サザエ等 (目的) (単) 沿岸漁業の重要対象種の資源動向と漁獲実態に関する調査を行い、漁業者へ資源管理方策の提言や高効率な漁業経営を促進するための情報発信を行う。	(成果) データ蓄積しており、稚魚の発生動向等から来漁期の漁獲予測が可能であり、漁業者が一番関心のある情報を提供している。 (課題) サザエ、アワビが漁獲量減少傾向にあり、原因究明が必要である。 漁獲の多いマアジについて沿岸域での調査がされておらず、漁獲動向を把握する必要がある。
資源回復技術開発試験	19年度 ～ 円 (4,615,000) 4,155,638	増殖推進室	(調査対象) イワガキ、バイ (目的) (単) 平成19年度から漁業者が実施しているイワガキ及び平成22年度から取り組んでいるバイ資源回復の取り組みを支援するため、資源状況(効果)の把握と増殖策に関する調査を実施する。	(成果) バイについては、産卵器の効果が確認でき、漁業者の導入に繋がった。 (課題) イワガキ稚貝が付着する時期、方法等を開発することが必要である。 バイについては、産卵器の導入を全県に広げることが必要である。

事業名	実施計画 期 間 (予算額) 支出済額	担当室	試 験 研 究 調 査 の 目 的	試験研究調査の 成 果・課 題
豊かで安心な魚を 育む漁場 環境監視 事業	19 年度 ～ 円 (4,303,137) 4,705,502	増殖推進 室	(調査対象) 海洋環境(水温・塩分・クロロフィル)、有害赤潮プランクトン貝毒調査、藻場の監視 (目的) (単) (委) ・沿岸漁業者の操業に役立つ海況と海洋観測前後の漁獲情報等を提供する。 ・有害赤潮プランクトンを監視する。 ・イワガキ出荷の安全・安心の確保のため貝毒原因プランクトン、ノロウイルスを監視する。 ・海藻の分布状況を監視する。	(成果) ・漁場環境や漁獲情報の迅速な提供によって漁業者の日々操業に役立った。 ・有害赤潮の発生予測によって被害防止策を迅速に講じることができた。 ・特産品であるイワガキの安全な流通とブランド保持に寄与した。  (課題) ・有害赤潮等の被害を防止するには県内及び臨県の各機関との連携・監視調査が必要である。 ・磯根資源を守るためには、県下を広く網羅した定期的な藻場監視調査が必要であり、長期的に知見を集積することが必要である。
キジハタ 栽培漁業 実用化試 験	25 年度 ～27年度 円 (8,074,000) 7,694,795	増殖推進 室	「6 主な事業に関する調べ」に記載	(成果) 「6 主な事業に関する調べ」に記載  (課題) 「6 主な事業に関する調べ」に記載
アユカケ 養殖普及 指導事業	25 年度 ～26年度 円 (1,388,000) 1,020,592	養殖・漁 場環境室	(調査対象) アユカケ (目的) (単) 養殖事業者とともに養殖試験にとりくみ、実際に育成してもらう中で問題点や養殖魚としての可能性を見極めていく。	(成果) ・予定していた養殖希望者の都合により、養殖試験は行えなかった。 ・県内2ヶ所において、地域団体と協働で放流試験を行った。  (課題) ・養殖希望者の準備が整わないこともあり、試験は中断し、今後は通常の養殖指導で対応する。
魚病対策 事業	20 年度 ～ 円 (1,939,000) 1,829,867	養殖・漁 場環境室	(調査対象) アワビ、アユ、ギンザケ、ヤマメ、ニジマス、イワナ、コイ、フナ、マサバ、キジハタ、アユカケ等 (目的) (補助) 薬事法及び食品衛生法に基づき養殖水産物の食の安全性を確保するため、養殖場の巡回指導、水産用薬品の残留検査、適正使用指導を行う。 種苗生産や養殖試験過程で発生する疾病の原因究明、対策技術の開発を行い、安全生産に寄与する。	(成果) ・魚病発生時に必要な検査を実施し、原因究明を図った。 ・種苗生産で発生する魚病についての防除策を研究した。 ・アワビ類のキセノハリオチス症対策として天然資源や生産種苗の放流前検査を実施した。  (課題) 生産量の急増しているマス類養殖に関する最新の魚病疾病・対策の情報収集が必要である。

事業名	実施計画 期間 (予算額) 支出済額	担当室	試験研究 調査の目的	試験研究調査の 成果・課題
内水面資源生態調査	22年度 ～ 円 (1,211,000) 1,204,230	養殖・漁場環境室	(調査対象) アユ、河川環境 (目的) (単) アユ資源の状況を確認し、アユ資源回復プラン効果を検証するとともに不漁対策について検討する。	(成果) ・天然アユの資源量を把握した。 ・付着藻類の現存量を把握した。  (課題) ・付着藻類の減少原因の特定が必要である。
豊かな海づくり事業(未利用海藻ほりおこし調査)	22年度 ～26年度 円 (1,711,000) 1,538,319	養殖・漁場環境室	(調査対象) アカモク、ホンダワラ、フサイワズタ、ハバノリ等  (目的) (単) これまでほとんど利用されてなかった有用海藻を素材に、漁業者による6次産業化によって付加価値を見出し、海産葉っぱビジネスを創出するための技術的支援を行う。	(成果) ・アカモクは新たな網代港支所でのビジネス立上げを指導。ビジネス化につなげ県内での取り組みは4地区に増加した。 ・県外業者からの要望のあったホンダワラの県内での分布を確認し、出荷の指導を実施した。また、スポアバックによる増養殖試験にも着手した。  (課題) ・アカモクの加工場が少なく、需要に対し供給が追いついてないことから、更なる取り組みの普及が必要である。 ・需要が明らかとなったホンダワラの安定生産手法を確立する必要がある。
養殖事業展開可能性調査	24年度 ～27年度 円 (9,160,000) 8,924,670	養殖・漁場環境室	「6 主な事業に関する調べ」に記載	(課題) 「6 主な事業に関する調べ」に記載  (課題) 「6 主な事業に関する調べ」に記載
湖山池漁場環境回復試験	12年度 ～ 円 (6,086,480) 5,968,643	養殖・漁場環境室	「6 主な事業に関する調べ」に記載	(成果) 「6 主な事業に関する調べ」に記載  (課題) 「6 主な事業に関する調べ」に記載

事業名	実施計画 期 間 (予算額) 支出済額	担当室	試 験 研 究 調 査 の 目 的	試験研究調査の 成 果 ・ 課 題
活イカブランド出荷システム実証試験	25 年度 ～ 26年度 円 (926, 000) 796, 687	増殖推進室	(調査対象) 白イカ (目的) (単) 需要の高い「活白イカ」について陸上水槽での活イカの備蓄技術や飲食店等の出荷先までの活魚パック輸送技術を開発する。	(成果) 賀露地区にモデル水槽を設置し、畜養試験を実施した。1週間以上の畜養に成功した。夏の白イカは畜養中に産卵し、衰弱するため、長期の畜養は行わない方が良くと考えられた。白イカ不漁のため畜養の限界匹数の試験が十分実施できなかったため再度試験を行う必要がある。  (課題) 活イカは、取り扱い、収容量、水質管理、効率的な出荷方法についてマニュアル化が必要である。
東郷池ヤマトシジミ資源回復試験	26 年度 ～28年度 円 (10, 622, 986) 10, 771, 000	養殖・漁場環境室	(調査対象) ヤマトシジミ (目的) (単) ・東郷池におけるヤマトシジミ増殖のための「橋津川水門操作マニュアル」の高度化と実証を行う。 ・資源状況や市場ニーズに応じた漁獲量の管理を行う。 ・東郷池産ヤマトシジミの更なる付加価値向上の取組を行う。	(成果) ・シジミの分布、資源状況を把握した。 ・湖内の水質を把握した。 ・東郷池水質予測モデルの基礎を作成した。  (課題) ・水門操作と湖内環境の関係を明らかにする必要がある。 ・湖内が貧酸素状態となった場合の対応策を明らかにする必要がある。

(注) (1) 「試験研究調査の目的」は、小分類まで記載し、単県分は(単)、国庫補助金等で実施しているものは(補助)、委託(受託)によるものは(委)と表示すること。

(2) 実施計画期間等の記載については、「試験研究調査の目的」ごとに記入すること。

## 2.4 船舶運航調べ（試験船おしどり）

（平成27年3月31日現在）

事業名	出航先	期間		乗船者			備考
		月日～月日	日数	調査員	乗務員	その他	
美保湾ヒラメ試験放流 サポート調査	海上1区	26.4.9	1	延人 2	延人 1	延人 8	
戦力！高級魚の資源実 態把握調査	海上1区	26.4.21 ～27.2.16	14	14	19		
沿岸漁業重要資源調査	海上1区	26.6.25 ～27.1.5	6	9	9		
資源回復技術開発試験	海上1区	26.4.5 ～27.3.18	19	38	26		
豊で安心な魚を育む漁 場環境監視事業	海上1区	26.4.25 ～27.3.17	13	15	20		
キジハタ栽培漁業実用 化試験	海上1区	26.6.19～ 26.10.21	10	16	13	6	
豊かな海づくり事業 （未利用海藻ほりおこ し調査）	海上1区	26.8.18	1	2	1		
おしどり維持管理	海上1区	27.3.9 ～27.3.16	2		2		
合計			66	96	91	14	

## 2.4 船舶運航調べ（試験船石脇丸）

（平成27年3月31日現在）

事業名	出航先	期間		乗船者			備考
		月日～月日	日数	調査員	乗務員	その他	
資源回復技術開発試験	海上1区	26.4.8～27.3.30	46	延人 80	延人 45	延人	
で安心な魚を育む漁場 環境監視事業	海上1区	26.9.8～26.9.22		2	5		
キジハタ栽培漁業実用 化試験	海上1区	26.4.14～26.9.10	4	6	4		
豊かな海づくり事業 （未利用海藻ほりおこ し調査）	海上1区	26.4.15～27.3.4	19	24	19		
栽培漁業センター管理 運営費（取水管調査）	海上1区	26.4.3～27.1.21	7	14	7		
東郷池ヤマトシジミ資 源回復試験	海上1区	26.6.11～26.11.11	5	9	7		
合計			84	135	87		

25 用船の状況調べ

事業名	調査内容	隻数	出向先	借上げ延日数	金額(円)		備考
					計	使用料内訳	
美保湾ヒラメ試験 放流サポート調査	桁網調査	1	美保湾	5	400,000	80,000円/日・隻 ×5日	4マイル未満3t以上 4h以上30m以浅
高級魚の資源実 態把握調査	ふぐ、イシダイ 延縄試験操業	5	中部沖他	12	960,000	80,000円/日・隻 ×12日	4マイル未満3t以上 4h以上30m以浅
沿岸漁業重要資 源調査	桁網調査	5	賀露～青 谷沖、 泊～ 天神川灘	20	960,000	80,000円/日・隻 ×12日	4マイル未満3t以上 4h以上30m以浅
					720,000	90,000円/日・隻 ×8日	4マイル未満3t以上 4h以上30m以深
沿岸漁業重要資 源調査	ソデイカ漁期前 試験操業	3	賀露沖	3	270,000	90,000円/日・隻 ×3日	4マイル未満3t以上 4h以上30m以深
キジハタ栽培漁業 実用化試験	追跡調査	23	網代、酒 津、赤 碕、淀江 地先	24	660,000	30,000円/日・隻 ×0.5日×44日	4マイル未満3t未満 4h未満
キジハタ栽培漁業 実用化試験	マッピング調査	6	網代地先 他	4	120,000	30,000円/日・隻 ×0.5日×8日	4マイル未満3t未満 4h未満
未利用海藻掘り起 こし調査	アカモク調査	1	酒津地先	0.5	15,000	30,000円/日・隻 ×0.5日×1日	4マイル未満3t未満 4h未満
湖山池漁場環境 回復試験	シジミ調査他	1	湖山池	18	360,000	20,000円/日・隻 ×0.5日×36日	内水面
合 計		45		86.5	4,465,000		